



Net Protections HD

株式会社ネットプロテクションズホールディングス
2023年3月期 第2四半期決算説明 補足資料

2022年11月14日

業績について

Q1：BtoC事業の成長減速の要因と今後の見通しは？

BtoC事業の成長が減速しているように見えるのは、21年8月に施行された改正薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）の影響により医薬品、医薬部外品、化粧品等の広告に関する規制が強化され、当社BtoC取引の約60%を占める美容・健康カテゴリーの加盟店の取扱が減少しているためです。

影響額につきましては、2023年3月期1Qは98.1億円に対して2Qは83.8億円となっており、今後は緩やかに回復していくものと見込んでいます。

Q2：第2四半期累計のGMVは +4.9%に対し、売上総利益が -3.4%の理由は？

GMV構成比の変化によるものです。

- ① “売上総利益率がBtoC事業対比で相対的に低い” BtoB事業の構成比が上がった。
- ② “手数料率が平均値より低い” 大手加盟店の構成比が上がった。

Q3：22年9月から開始した収納料金の値上げ（1請求あたり35円）のGMV影響はどうか？

当初想定した影響の範囲内に収まっています。多くの加盟店において値上げをユーザーに転嫁せず、自社努力で賄っていることがその理由と考えます。

なお、収納費値上げにより当社の営業収益は増加しますが、コンビニエンスストアに支払う原価費用も同様に増加するため、売上総利益への影響はございません。

業績予想の修正について

Q1：3Q-4Q累計の薬機法影響によるGMV減はどの程度を見込んでいるのか？

現状では薬機法影響の改善状況は加盟店によりまちまちですが、改正前の状態には戻ることはないと当社は見ています。業績予想の修正では、この状態が通常のものとして続くと認識して数字に織り込んでいます。

Q2：BtoB事業は堅調だが、BtoB事業の業績予想を上方修正しないのか？

BtoB事業は第2四半期累計で26.3%成長の見込みに対し36.0%の実績と堅調に推移しています。

一方で、今夏にTV-CMを中心としたマーケティング投資を計画しておりましたが、慎重にテストを進めた結果、本格展開を22年11月からと後ろ倒ししました。

この度の業績予想の見直しにあたっては、このマーケティング効果による新規導入店の積み上げを保守的に見込むことで、結果として、期初の業績予想であるGMV1,300億円/年を据え置くことに致しました。

Q3：営業収益の減少に合わせて、販管費を抑制することもできるのではないか？

当社はBNPL業界で数少ないユニットベースでの利益計上に成功している企業となります。

販管費を抑制し黒字を維持する選択肢もございましたが、開拓可能な市場は大きく、いま投資を継続することは将来の利益の最大化につながると判断し、マーケティング投資及び営業・IT分野の体制強化を継続することと致しました。

なお、来期以降は投資効果と事業環境を総合的に判断して投資規模を決定していきます。

以上となります。

※当日の実際のQ&Aの書き起こしも後日別途公開されますので、よろしければそちらもご覧ください。

ディスクレーム

- 本資料及び本資料にて提供される情報は企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料及び本資料にて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(Forward-looking Statements)を含みます。
- これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。